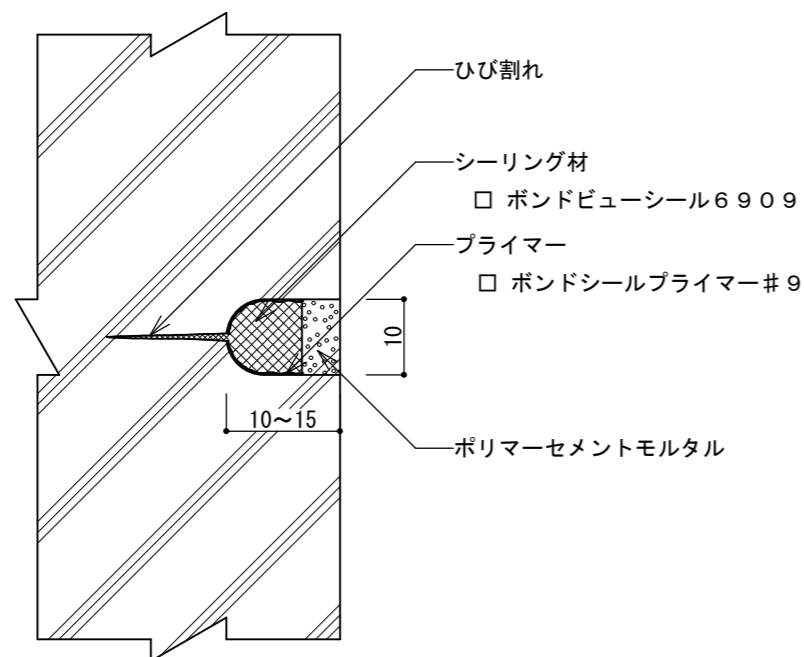


ひび割れ部Uカットシール材充てん工法

BC-03-01

(シーリング材)

(コンクリート打放し外壁)



- | | |
|---------------|---|
| 補修範囲の確認 | ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 |
| ↓ | |
| U カ ッ ト | ・ひび割れ部に沿って、幅10mm、深さ10mm~15mm程度のU字型に溝を設ける。 |
| ↓ | |
| 溝内の清掃 | ・Uカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ、刷毛、圧搾空気等で除去し、清掃する。 |
| ↓ | |
| プライマーの塗布 | ・専用プライマーを刷毛等で溝内部に塗り残しの無いように均一に塗布する。 |
| ↓ | |
| シール材の混合 | ・シーリング材専用混合機にて、基剤・硬化剤が均一になるまで15分以上混合する。
・未硬化になりやすい混合容器の壁・底部などは、ヘラ等でかき落とした後に再度混合する。 |
| ↓ | |
| シール材の充てん及び仕上げ | ・Uカット溝内へシール材をコーキングガン等で空隙や打ち残し等の無いように加圧しながら充てんし、コンクリート表面から3mm~5mm低めに充てんし、仕上げる。 |
| ↓ | |
| シール材の養生 | ・シール材が硬化するまでは、損傷等がないようにし、また雨水等からも養生する。 |
| ↓ | |
| 仕上げ | ・ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込み仕上げる。 |
| ↓ | |
| 清掃 | ・シール部以外の樹脂汚れ等を除去し、清掃する。 |
| ↓ | |
| 自主検査 | ・仕上がり状態の確認、及びあとかたづけを確認する。 |

図面番号 : No. 19

縮 尺 : 1 / 1



BESTEM ボンドで創るベストシステム
— ベステム —